



先月の山行

- | | |
|---------------|--------|
| ☆ 7月26日(水) 白山 | 山行報告参照 |
| ☆ 8月6日(日) 白山 | 山行報告参照 |
| ☆ 12日(土) 三の峰 | 山行報告参照 |
| ☆ 20日(日) 賤が岳 | 山行報告参照 |

9月の予定

- ☆ 10日(日) 経ヶ岳

冠山

- ☆ 14日(木) 例会

- ☆ 17日(日)

CL

- ☆ 30日(土) ~ 10月1日(日)

北信越交流登山 新潟県

CL

10月の予定

- ★ 12日(木) 例会

- ☆ 15日(日) 御在所岳

CL

経ヶ岳

CL

赤い文字は山遊会山行です。

山行申込み方法

- ・山行申込みの基本は例会時です。
(都合により例会に出席できないが、山行込みをした場合は、例会当日20時半頃、宮本の携帯090-8260-8108へ連絡してください。)
- ・例会時に未定であったり、山行申込済で都合によりいけなくなった場合は、前々日夜までに山行リーダーへ直接連絡してください。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

白山

H29年7月26日(水) 27日(木)

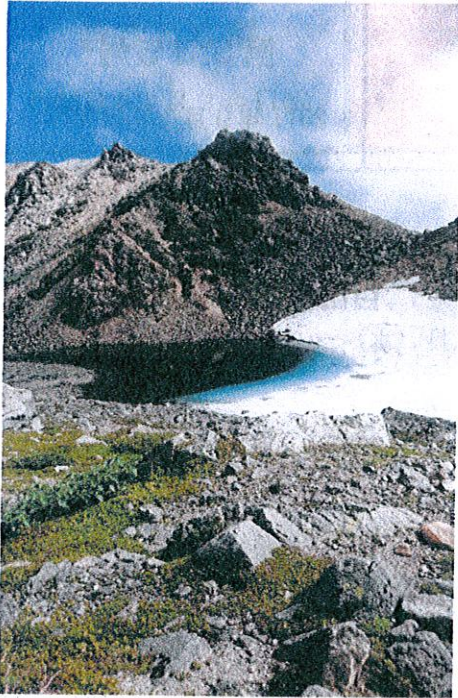
参加者

報告者

朝 6時グリーンセンターに集合 7時50分 別当出会を出発。今回は観光新道をゆっくり登り室堂に泊まり、天気をみながら御池巡りと大汝峰に登る予定だったが雨で大汝峰は中止した。

別当出会で道を左にとり観光新道へ。急登が続くがゆっくり無理なく登った。砂防新道は、すでにたくさんの人が登り、混み合っているが、こちらは空いている。稜線に出ても周りの景色は何も見えず、殿ヶ池避難小屋では天気が回復するのを待って、長い昼食タイムを取る。13時10分室堂に到着。14時天気が回復。晴れて来た。軽食をとりサブザックに水と携帯食、雨具を持ち御前峰へ。14時40分御前峰到着。早々に御池巡りに出発。雪渓が残りお花畑には可愛い花が沢山咲いている。荒川さんが名前を教えてくれて、素晴らしい写真が撮れた。勿論ちんぐるまも咲いていたのでパチリ。16時10分室堂に着くとそのまま夕食にした。お疲れ様。ビールで乾杯。旨い。良く歩いたのでご飯が美味しい。私は味噌汁のお代わりまでしてしまった。お腹一杯でゆっくり寝ようとしたがトイレに起きるドアの音が一晚中気になって眠れなかった。

山の朝は早い。2時頃から起き出す人の気配、御来光は見えるかな? 3時30分起床、4時出発。暫く待ったが御来光は見えず下山開始。5時40分から朝食が始まるので早いけれど食べる事にした。疲れていても、寝不足でも食欲はしっかりあった。天気の回復を待ち2時間程仮眠を取る。8時20分室堂を出発。帰りは砂防新道を下る。昨日黒ぼこ岩で出会った永平寺の修行僧達が目取りも軽く下りてゆく。若いなあ。登って来る人が多いのでしばしば立ち止まる。長い。とにかく長い。陣ノ助小屋、中飯場で軽食とトイレ休憩を取り12時別当出会に着いた。白峰総湯で2日間の汗を流し、15時30分グリーンセンターに着いた。運転して下さった前田さん。ゆっくりと歩きいろいろと配慮して下さいました。無事白山に登ってこれて感謝しています。有難うございました。



ハクサンコザクラ

白山

日時 2017年8月 6日

参加者

報告者



朝からトラブルです。集合場所がカネキの駐車場になっていたが、話のすれ違いで下村さんが雪研で待っていた。カネキの駐車場が広いので新人の山本さんも勘違いしてしまう。それでもほぼ予定通り5時過ぎには出発できた。6時過ぎに市ノ瀬に着く。バスに乗っているとフロントガラスに何やら雨が。天気予報では晴れのはずでは？別当出合に着く。やっぱり雨が降っている。まだカップを着る雨ではない。観光新道に行く。いきなりの急登です。湿度が高いのか汗が吹き出る。森の中を歩いているので、雨はそれほど感じない。でも森を抜けると雨が気になる。小雨だが長時間雨に当たるとしっとり濡れてきた。カップを着ると人と着ない人に分かれた。私はカップを来た。暑さが増してきた。急登が連続で続く。さらに汗が吹き出た。最初の分岐まで来ると雨が止んできた。カップ脱ぐ。空は青空が広がってきた。伴藤さんからスイカの差し入れです。冷たくて美味しい、喉が乾いていたので一層美味しく感じた。分岐からも階段の急登が続く。仙人窟を過ぎるとちょっとした岩場がある。岩場から尾根上に続く登山道を見上げることができる。尾根の途中に休憩できる場所あり、そこから振り返ると仙人窟、岩場、尾根を歩く大勢の登山者が眼下見える。全員が集まるまで休憩。殿ヶ池に向かって行く。花が多くなってきた。殿ヶ池小屋に着くが、登山者で一杯のため、殿ヶ池の前で休憩です。天気は完全に晴れて来た。殿ヶ池小屋を出発するとお花畑になってきた。馬のたて髪に着くとさらに花が多くなってきた。馬のたて髪と言っても、そんなに急登ではない。花を見ながら登っていく。時折谷からの吹く上げてくる風が気持

ました。

いわもとひろあき

3-7-25

のうさちよ

4-16-14

願ひ致します。

ちいい！福井の温度が37度の予報だが、ここは天国ですね。爽やかです。蛇塚を過ぎ、黒ボコ岩までの間がかなりのお花畑だと思ったが、何か物足りないのを感じた。黒ボコ岩に着く、伴藤さんも佐々木さんも黒ボコ岩に登ったことがないらしく感動ぎみでした。弥陀ヶ原の木道を進む。弥陀ヶ原は正面に白山を見ながら左右にクマ笹の高原、非日常の世界が広がっています。室堂まで大きい岩の坂を登る。室堂センターに着く。佐々木さんが越前5山のスタンプ用紙に白山のスタンプを押していた。センターの出て大勢の人が休憩している。ここで昼食です。今日は冷やし中華です。冷たくて大変美味しゅうございました。伴藤さんいつもありがとうございます。昼食後は頂上に行くかどうかになり、会長以外は頂上に行くことになった。会長は周りの花を観察しているとのこと。普通神社の裏辺りにクロユリが咲いているはずだったが、咲いていない。どうも今年は変だ！その代わりにクルマユリが群生している。頂上に着くが眺望はない。大汝山が見える位だ。早々に下山開始。室堂センター手前で会長がクロユリを見つけたとのこと。案内してもらおう。咲いていた。白山に来たらクロユリは見たいものだ。室堂センターで水を補給して下山開始する。下山は砂防新道です。黒ボコ岩を通過して、南竜分岐まで中間辺りで倒れた人が医者の手当を受けていた。その後ヘリコプターが救助に来た。甚之助小屋手前の日陰で休む。その後小柏が走り出したので、下村、友清、小泉が追いかける。別当覗きも中飯場も通り過ぎ、一気に別当出合に着く。バスが来ていたので友清さんを置いて3人で下りることにした。後のバスで全員がきた。今回の山行は朝の雨を忘れる様な天気、今日も天気恵まれたいい山行でした。晴れ女 or 晴れ男？感謝です。

賤ヶ岳（しずがだけ）421m

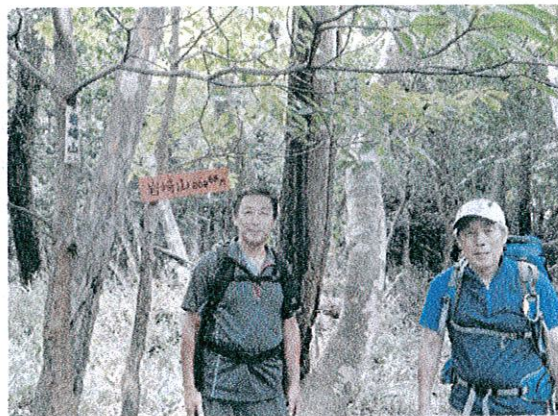
2017年8月20日

参加者

報告者



合戦ゆかりの地を訪ねて、今日は賤ヶ岳です。6時カネキに集合でしたが、手違いで森田さんが雪研で待っていた。30分遅れで出発です。低山ですので多少出発が遅れてもまったく問題は無い。8時前に余呉湖観光館に着く。江土登山口から登った人がほとんどいなかったのが私が登山口まで案内する。町内の中ほどに登山口が有る。登山口から頂上まで4.2km、頂上直下まで緩やかな坂道です。登山口から間もなく岩崎山砦跡左の標識あり。標識にはすぐそこ書いてある。友清さんが走って行った。つられて岡山さんと畑中さんが付いていった。



皆がそんなことは知らず頂上に向かって進んでいる。分岐で休憩することになったが、初めて3人が無いことの気がつく。約10分後に3人がやってくる。すぐそこ書いてあったが走って5分位かかったらしい。全員揃ったところで出発です。綺麗な杉林の中を進んでいく。林道に出た。すぐにまた登山道に入る。しばらく行くと中川清秀の墓との分岐に着く。時間が有るので墓のある大岩山砦に行く。しばしここで歴史の勉強です。大岩山砦を下り登山道に戻る。少し進むと中川清秀の首を洗ったとされる池が登山道から50m下にある。ここも見学に行く。頂上まで1kmを切った所からようやく木の隙間から余呉湖が見え始めた。反対側には琵琶湖も見える。頂上直下から急坂になる。ジグザク登っていくので、それほど疲れることは無い。頂上に着く。左に余呉湖が一望です。余呉湖の向こう側に佐久間盛政が陣取った行市山、反対に目をやると琵琶湖、竹生島、山本山、木之本の町、伊吹山は雲の覆われていた。賤ヶ岳合戦図の前にいると語り部の伊藤さんの解説が始まった。戦国時代の英雄達が駆け抜けて行った賤ヶ岳に思いを馳せた。11時近くになったので、ここで昼食になった。今日は焼きそばです。やっぱり山で食べる食事は美味しいね！下山は国民宿舎余呉湖荘に向かって下りる。飯ノ浦の切通までは急坂です。慎重に下りる。切通からはゆるやかな登山道に変わる。道路に出ると右手に余呉湖荘が有る。ここで風呂に入る予定だったが、余呉湖荘は閉館していた。予定が狂った。どうしようかと考えながら余呉湖を周回。観光館で尋ねるが遠い。結果、下道で365温泉に

行くことにした。久しぶりで走るの新しいトンネルができていたとは知りませんでした。予想していたより早く 365 温泉に着く。今日もいい山行でした。

三の峰 2128m

日時 7月12日(土)

8日の例会にて、天気予報で11日(山の日)は雨模様なので、参加メンバーで天気が回復する12日(土)に変更を決定。ところが、回復が早まり、11日が晴天になり、12日に雨模様になってしまいました。残念!!



<山行報告>

5時30分に県建設技術研究センターに集まり、午後から雨の確率が10%を信じ、予定通り三の峰に向けて出発。大野市に入るところから雨が降り始める。鳩ヶ湯温泉の駐車場に着く頃には、雨が少し本降りになってきたので、雨具に着替える。車を走らせ、上小池駐車場に到着。すでに3台程度自家用車が止まっていた。雨も小降りになり、7時30分から山を上りを開始。まず、打波川沿いに降りて、そのまま歩くと、登山口が現れた。そこには整備された階段があり、急斜面ながらもゆっくりと着実にスタート。その後も、急斜面の林の中をジグザグした坂が続き、雨の影響もあり、汗で体中びしょりなりながら、雨できれいになった新緑を見つつ足元に気を付けて上りました。久しぶりに大きなカタツムリを見て、みんながびっくり。途中の山腰屋敷跡でちょっと休憩し、6本槍まで登って休憩を取りました。途中で、4人組のグループに会いました。6本槍は杉峠・赤兎山への分かれ道で、ここから、三の峰に向けては尾根道で快晴ならば、遠く岐阜県側の山々や山の斜面に広がる花々や一面の緑の草が見えるこのコースのハイライトであったが、霧と雨で十分ではありませんでした。三の峰の小屋に向かう長くて急な上り坂を全員で上っている中で、1名(報告者)が足にけいれんなどを発症、CLの荒川さんが他のメンバーと相談頂き、限界ということで登頂を断念し、下山することになりました。その後みんなで雨の中で昼食をとりました。周りには花が咲いていました。高さ

的には1900mぐらいで小屋まであと30分から45分ぐらいの場所とのことでした。

『みなさんにたいへんご迷惑をおかけしました。』昼食後、みんなで、下山を開始しました。雨で道が滑るのでゆっくり降りました。降りる途中で18名の団体とすれ違いました。今日は、三の峰の避難小屋で1泊するそうです。降りるにつれて、雨は小降りになり、6本槍では雨が上がりました。

全員びしょ濡れでした。

<報告者の御礼>

足がけいれんした時には、のみ薬と梅干を頂きました。また、両手に杖があった方がいいということで杖を1本貸していただきました。本当に皆様にお世話になり、ありがとうございました。

<再度のトライを>

ご迷惑をお掛けしました。皆さんともう一度、三の峰にトライしたいと思います。それまでに鍛え直したいと思います。

<雑情報>

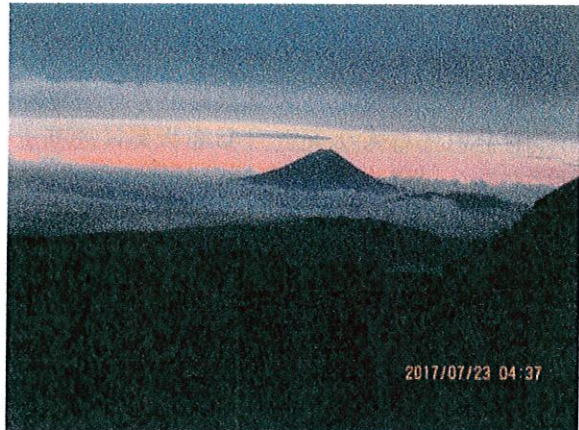
鳩ヶ湯温泉情報

1泊2食、景色のいい部屋(道路側) 15000円

反対側 14000円

風呂 600円/人 男湯 洗い場3か所 非常に狭い。

7月21日～北岳ハイキングG山行



「編集後記」

県消防操法練習で毎日訓練の繰り返しが続き5月から季節が止まってしまう感覚になりましたね。もう夏も終わりです。おかげさまで大きなケガ無く終了しました。

久しぶりの山行(賤が岳)パワフルな会員に感謝し、ハイキングGがいつまでもいつまでも事故無く安全な山行出来る事を戦国時代羽柴秀吉陣営山頂で願ってしまいました。